TADOKU JUNIOR 自然のふしぎ神話 ★★★☆☆ ふつう 274語

An Indian Story of the Mole

アメリカ先住みんのモグラのお話

Flora J. Cooke（1895年の本） 原文そのまま 朗読：Linette Geisel

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？ かりゅうどのしかけたわなに、お日さまがかかってしまいました。世界がまっくらになったとき、いさましいモグラが……。

AN Indian once saw a squirrel sunning himself in a tree top.

The squirrel saw the hunter and leaped upon a passing cloud.

He had escaped into Cloudland before an arrow could reach him.

The Indian set a trap for him hoping that he would soon return to the tree for food.

The sun happened to be coming that way and was caught in the trap.

Suddenly, in the middle of the day, it became dark.

The Indian was frightened and said, “Ah me, what have I done, I have surely caught the sun in my trap.”

He sent many animals up to set it free, but all were instantly burned to ashes.

At last the mole said, “Let me try, I shall bore through the ground of the sky and gnaw off the cords which hold the trap.”

He did this, but just as he loosened the last cord the sun sprang forth and the bright light shone full in his eyes.

The poor mole dropped to the earth and though his friends were able to save his life, he was blind.

“You need not pity me,” he said, “I prefer to live underground, where really there is no use for eyes.”

All the moles were so proud of this hero mole that they tried to be like him in every way.

They, too, went to live in a dark hole in the earth.

Their eyes, which they did not need to use, became so small that they were entirely hidden by their fur. Indeed it is now so hard to find them that many people think the entire mole family is blind.



あるとき、ひとりの先住みん（インディアン）が、木のてっぺんで日なたぼっこをしているリスを見つけました。

リスはかりゅうどを見ると、通りかかった雲にとび乗りました。

矢がとどく前に、リスは雲の国へにげてしまいました。

かりゅうどは、リスが食べ物をとりにすぐ木にもどってくるだろうと思って、わなをしかけました。

ちょうどそこへ、お日さまが通りかかって、わなにかかってしまいました。

とつぜん、昼のまっさい中に、あたりがまっくらになりました。

かりゅうどはこわくなって言いました。「ああ、なんということをしてしまったんだ。きっとお日さまを、わなでつかまえてしまったんだ。」

かりゅうどは、お日さまを助けに、たくさんの動物を空へ送りましたが、みんなたちまち、やけてはいになってしまいました。

とうとうモグラが言いました。「ぼくにやらせてください。空の地面にあなをほって、わなをとめているひもをかみ切ってきます。」

モグラはそのとおりにしました。けれども、さいごのひもをゆるめたとたん、お日さまがとび出して、まぶしい光がまともにモグラの目に当たりました。

かわいそうなモグラは地上に落ちて、なかまたちが命を助けましたが、目が見えなくなってしまいました。

「かわいそうに思わなくていいよ」とモグラは言いました。「ぼくは地面の下でくらすほうがすきなんだ。そこでは本当に目なんかいらないからね。」

モグラたちはみんな、このえいゆうのモグラをとてもほこりに思って、何から何までまねしようとしました。

モグラたちも、地面のくらいあなの中にすむようになりました。

使うひつようのなくなった目はとても小さくなって、毛にすっかりかくれてしまいました。本当に、今ではモグラの目を見つけるのはとてもむずかしいので、モグラの一族はみんな目が見えないと思っている人がたくさんいるのです。

たんご と クイズ　アメリカ先住みんのモグラのお話

squirrel リス	**cloud** 雲	**arrow** 矢
trap わな	**sun** お日さま（太陽）	**mole** モグラ

Q1 かりゅうどのわなにかかったのは？

① リス　② お日さま　③ モグラ

Q2 モグラの目が見えなくなったのはなぜ？

① まぶしいお日さまの光が目に当たったから　② 土が目に入ったから　③ 年をとったから

こたえ

Q1 ②　リスをつかまえるためのわなに、通りかかったお日さまがかかって、昼なのにまっくらになりました。

Q2 ①　さいごのひもをゆるめたとたん、お日さまがとび出して、まぶしい光がモグラの目に当たったのです。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #30800（Flora J. Cooke、1895年）。パブリックドメイン。
挿絵：(1895 edition)（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Linette Geisel（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは 3 重チェック。人の目でも順次確認しています。